

令和7年度 東郷町立東郷小学校 第3回学校運営協議会 議事録

日時：令和8年2月17日（火）

10時00分から11時00分まで

場所：東郷町立東郷小学校 校長室

1 開会の言葉（進行：教頭）

東郷小学校教頭：佐藤先生より開会の言葉

2 校長あいさつ

東郷小学校校長：平野先生よりあいさつ

3 議事

(1) 学校経営を振り返って

校長より報告あり。

→今年度は「児童が主体的に取り組む力の育成」を目標に、特別活動を核とした授業づくりを推進してきた。

(2) 本年度の学校評価アンケート結果について

教頭より報告あり。内容は以下のとおり。

- ・全17項目のうち、14項目で70%以上の肯定的な評価を得た。
- ・「学校が楽しい」「学校に仲の良い友達がいる」という項目はほぼ100%に近く、非常に良好な結果となった。
- ・挨拶について、「自分から挨拶している」という項目において、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した児童は約8割であるが、教職員の評価は約6割であり、認識に差が見られた。
- ・異学年交流の成果について、縦割りでの清掃活動や、1・2年生の交流、高学年（5・6年生）が企画する活動、児童会主催の「お楽しみ会」等を実施。児童の主体性や思いやりの心が育ってきている。

(3) 次年度への課題と提言について

教頭より報告あり。内容は以下のとおり。

- ・自由記述における保護者からの主な意見では、交通安全に関することや、プリントの配布方法について（ホームページ活用などデジタル化の要望と、写真掲載等の個人情報保護に関する懸念）、児童間の人間関係への配慮に関すること等が挙げられた。

(4) 質疑応答

委員からの意見は以下のとおり。

- ・評価の目線について、児童は「目標に向けて努力している」ことで自己評価を高くつけていると思われる。教職員は基準が厳しすぎるのではないかな。児童の成長段階を認める評価をしてほしい。
- ・挨拶の捉え方について、「自分から先に挨拶する」ことの難しさがある。先に挨拶できたことを褒めるなどの体験を積ませてはどうか。
- ・異学年交流は、社会性を育む素晴らしい取り組みであり、今後もぜひ継続・拡大してほしい。
- ・アンケートを活用し、パーセンテージの集計だけでなく、次年度以降も自由記述欄を設け、保護者の率直な声を拾い上げて学校運営に活かしてほしい。

(5) 地域とかかわる次年度以降の活動

○学校からの報告

本年度、コミュニティ・スクールの取り組みとして「昔遊びボランティア」を募集したところ、地域から4名の方に参加していただいた。児童は大変喜び、ボランティアの方からも「楽しかった」との声をいただいた。児童からのお礼の手紙も大変好評であった。今後も継続し、次年度はより早い時期からボランティアの募集と案内を行いたい。

○委員からの意見

ボランティア活動は、学校にとっても地域にとっても良い刺激になる。無理のない範囲で、地域の方が気軽に参加できる仕組みづくりを進めてほしい。

○次年度の方針性と地域の連携（事務局より）

東郷小学校の創立120周年という節目に向け、地域の伝統文化（和太鼓や東郷音頭など）を体験する機会を取り入れるなど、地域と一体となった取り組みを検討してはどうか。

他校の事例として、校外学習の引率補助や給食の配膳補助などを地域ボランティアが担っているケースがある。東郷小学校ならではの「地域連携の形」を皆様で探っていただきたい。

(6) その他

なし

4 連絡事項

なし

5 閉会の言葉

教頭から閉会の言葉あり。